

# 船舶事故調査報告書

平成24年9月13日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突
発生日時	平成23年12月31日（土） 08時40分ごろ
発生場所	長崎県西海市弁天島南東方沖（針尾瀬戸） 西海市所在の針尾瀬戸弁天島灯台から真方位157° 550m付近 （概位 北緯33° 03.3′ 東経129° 45.2′）
事故調査の経過	平成24年1月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A モーターボート <sup>ほうせい</sup> 宝生丸、2.6トン NS3-506814（漁船登録番号）、個人所有 8.93m（Lr）×2.27m×0.70m、FRP ディーゼル機関、154.46kW、昭和63年10月12日 B モーターボート <sup>かわぞえ</sup> 川添丸、5トン未満 292-28389長崎、個人所有 4.28m（Lr）×1.40m×0.52m、FRP ガソリン機関（船外機）、7.28kW、昭和58年10月
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 74歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年11月26日 免許証交付日 平成21年3月11日 （平成26年8月9日まで有効） B 操縦者B 男性 81歳 操縦免許なし
死傷者等	死亡 1人（操縦者B）
損傷	A 船底に擦過傷、舵軸が曲損、推進器翼曲損 B 右舷船首外板から左舷船尾外板にかけて破損
事故の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、長崎県 <sup>かわたな</sup> 川棚町深浦から長崎県佐世保市佐世保港第1区の前畑岸壁 <sup>まえはた</sup> 沖に向けて航行し、針尾瀬戸南口で速力を約25ノット（kn）から約5knに減速した。 船長Aは、操縦席に腰を掛けて操船し、針尾瀬戸の中央付近を通り、新西海橋下を通過したのち、ふだんどおり、弁天島と長崎県西海市弁天埼との間を通過するつもりでいたものの、前方に約10隻の釣

	<p>り船が見えたので、同瀬戸の右（東）側寄りを北西進しようとして右舵を取り、舵を中央に戻したところ、平成23年12月31日08時40分ごろ、弁天島南東方沖において、A船の船首とB船の右舷船首が衝突し、A船がB船を乗り切った。</p> <p>B船は、操縦者Bが1人で乗船していたところ、A船と衝突し、転覆した。</p> <p>操縦者Bは、漂流していたところを付近にいた釣り船に救助され、救急車で病院に搬送されたのち、右下腿開放性骨折に伴う出血性ショックによる死亡が確認された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期、潮流 西北西流の末期</p>
その他の事項	<p>船長Aは、新西海橋下を通過したのち、前方に約10隻の釣り船がいることを認めたので、これらの釣り船に注意を向けており、B船には全く気付いていなかった。</p> <p>A船は、レーダー及びGPSプロッターが故障しており、使用していなかった。</p> <p>A船は、速力約25knで航走した場合、船首が浮上して船首死角を生じるが、針尾瀬戸通過中であつた本事故発生時には、速力を約5knに減速していたので、船首死角を生じていなかった。</p> <p>船長Aは、救命胴衣を着用していた。</p> <p>操縦者Bは、救命胴衣を着用していなかった。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B 不明</p> <p>A あり、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>A船は、針尾瀬戸の中央付近を西北西進中、船長Aが前方に約10隻の釣り船が見えたので、同瀬戸の右（東）側寄りを北西進することとし、右舵を取ったのち、舵を中央に戻したところ、B船に気付かず航行したことから、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>操縦者Bは、死亡したため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかつた。</p> <p>操縦者Bの死因は、右下腿開放性骨折に伴う出血性ショックであつた。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、弁天島南東方沖の針尾瀬戸において、A船が、同瀬戸の右（東）側寄りを西北西進中にB船と衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変針する際は、変針方向の他船の状況を確認すること。</li> <li>・ 救命胴衣を着用すること。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・レーダー及びGPSプロッターは、使用できる状態を維持することが望ましい。</li></ul>
--	---